

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名：KMRE多摩

サービス種別： 共同生活援助（介護包括サービス型）

1. 開催日時： 令和7年6月10日火曜日 16：00～17：00

2. 開催場所： 竹の子の家（ユニット）1階交流室

3. 会議趣旨の説明

ご利用者と地域との関係づくりや、
地域の方へのホームやご利用者に関する理解の促進。
昨今は虐待なども問題となっており、支援に対する事業の透明性を計るため。

4. 参加者 （参加者の紹介）

- ・当グループホーム管理者
 - ・当グループホームサービス管理責任者
 - ・男性ご利用者（5年間入居の利用者）
 - ・利用者ご家族（1年半入居の利用者お父様）
 - ・地域の関係者（寄合所勤務の男性）
 - ・障がい福祉事業を支援する会社勤務の男性2名（1名オンライン参加）
- 以上7名

5. 事業所からの報告

- ・事業所について概要を説明

現在3棟運営（男性棟1棟、女性棟2棟）

ご利用者により長くお付き合いいただくために、丁寧な支援を心掛けている。
一気に拡大する方針を取っていない。

6. 議題

□地域との連携・理解の促進について

- ・グループホームの日常生活について

学校ではない。他のご利用者の迷惑にならないのであれば、できるだけその方のペースや特性を尊重した支援を行っている。

- ・ご利用者について

精神手帳の方、愛の手帳の方がいらっしゃる。
どなたも非常に穏やかに暮らしている。

- ・障害の知識について共有

障害特性に関する知識を得る事で支援者が適切な支援を行う事ができると考え、
サビ管がご利用者に合わせた研修を行っている

- ・近隣からの苦情などの共有

職員の車の出し入れに関して指摘を受けたことあるが
今の所大きな苦情は全くなし。

ご利用者に関する苦情は一切なし。

- ・事業所でのイベントの案内

お誕生日やクリスマスに関してはご利用者の希望に沿って開催している。

誕生日の例：誕生日の方のお好きな食べ物やケーキを用意

□サービスの透明性・質の確保について

- ・法定研修5項目については年2回(7月、12月予定)行っている。

- ・それとは別に利用者の特性についても、
サビ管が職員に対して1対1で研修を行っている。

- ・委員会についても虐待、身体拘束については年1回、感染症については年4回
開催している。

感染症対策委員会においては直近の事例をとりあげ、
支援方法の手順等を見直し、職員に周知し、改善に努めている。

- ・経営の透明性についての報告

昨今問題となっている食材費等については6ヶ月に一回精算。

ご利用者には生活保護の方もいるので、
追加徴収が出ないように多少多い金額を設定し、返金の対応を行っている。
個人により返金額の差が出ているは食事等の利用頻度によるもの。

□利用者の権利擁護について

- ・ご利用者が詐欺事件等に巻き込まれないよう、
普段の会話の中でアンテナをはり、怪しい情報については関係者と共有し
未然に防ぐよう努めている。

- ・ヒヤリハット、インシデントの集計報告
職員間で事例を共有し全体のレベルアップにつなげつつ、
大きな事故を未然に防いでいく。

- ・虐待、苦情の状況
現在まで報告なし。

□地域での活動について

- ・寄合所シモンの活動紹介

平日早い時間の習い事が多く、残念ながらご利用者が参加しにくい。
ただし、イベント的なものもあり、機会があればホームとしても参加してみたい。

- ・大坂西公園でのラジオ体操、餅つき大会、夏祭り

ラジオ体操には既に参加されているご利用者がいらっしゃる。

祭り等については公園近くの看板に告知が出るので、
ホーム内でもアナウンスしている。

誘い合って参加されるご利用者もいる

7. 会議開催にかかる感想

・ご利用者

開設されて2番目に入った。もう5年目。

立地上、正直移動は大変だが、環境が良く暮らしやすい。

一人暮らしは話す人がいないが、ここでは話を聞いてくれる人がいる。

訪問看護もあるから24時間対応してもらえて安心。

居心地がいいのでここが本当に自分の住まいだと感じている。

・利用者ご家族

いろんなことに気を遣っていただいて感謝しかない。

その一言に尽きる。

・福祉に知見のある参加者からの総評

グループホームはどうしても閉鎖的になってしまいがちで

どういった運営をしているのか一般的には知られていない。

今後このような形でいろんな人が関わることで

ご利用者の方の生活の安定に繋がると思う。

利用者さんの実際の様子や、サビ管の方の支援に関する思いを聞き、

双方の関係性が非常に良いことが伺えた。

報告通りの利用者さんファーストの運営が実践できていると感じた。

8. 質疑応答

(地域の関係者より)

グループホーム運営していてやりがいに感じることや

苦労していることがあったら教えて欲しい。

(管理者回答)

穏やかに生活している様子を見るとエネルギーが貰える

特性、個性様々で、日々勉強になる

それが大変さであり、やりがいでもある。

(サビ管の回答)

大変さはほとんど感じない。

ご利用者、ご家族が幸せなことが1番。

皆さん、協力的で本当に助かる。

9. ユニット見学

以上

竹の子の家 桜・竹の子の家 楓 ユニット見学

開催日時： 令和7年6月25日(水)10:00～11:00

参加者

- ・当グループホーム管理者
- ・当グループホームサービス管理責任者
- ・地域の関係者(町内会会長)

☐先日行われた地域連携推進会議について説明

会議趣旨について。

各ユニットの説明。

会議での議題やご利用者やご家族からの感想についてお伝えする。

☐地域の行事紹介(地域の関係者の方より)

秋祭りについて。

掲示板について。

町内会の賛助会員として加入されてはどうか？と、ご提案いただき
前向きに検討する事となる。

☐ユニット見学

☐質疑応答

当ユニットのご利用者の支援地や通所先について。

他ユニット含め、近隣からの苦情の有無についてご質問いただき、

ご利用者に関しては今現在まで苦情等全く受けていない旨ご説明し、

今後も地域の方に受け入れていただけるような、穏やかなホーム運営を目指して
いる事をお伝えする。